

学力向上に向けて～ご家庭で取り組んでいただきたいこと～

学校は、集団で様々な「生きるための力」を学んでいく所です。その中核となるのが、国語や算数といった教科の学習です。「できる喜び・分かる喜び」を通して、さらに意欲も高め、学ぶ楽しさ・生きる喜びへとつなげていきたいと考えます。

また、子どもたちの学力を伸ばすには、ご家庭の協力が大切です。基本的な生活習慣を整え学習できる体と心を育てること、温かい励ましで安心して取り組める気持ちをもたせることに加え、「学びの心・技能」を育て、「習慣」を付けるために、以下の点に留意して取り組んでいただくと、さらに力が付いてくると思います。

学びの心を育てる

その1 好奇心・関心の目を広げましょう。

自然の動植物、季節の移り変わり、天気や宇宙への興味、様々な仕事の場面、公共機関の乗り物、世の中の数の不思議・・・数限りなく世の中は不思議に満ちあふれています。子どもたちは豊かな体験を通して、たくさんの興味関心が蓄積していきます。また、その気付きをお子さんと共に、語ってください。楽しんでください。



おすすめ・①寝る前の親子読書(読み聞かせ)10分間にトライ。

- ②地図やことわざ、ポスターなどよく目にする場所などに貼ってみる。
- ③一緒にすぐ調べてみよう。辞書や図鑑など身近に置いて。

その2 学べる心と体づくりが基本です。

「なんとなくやる気がしない。」「なんだかイライラして集中しない。」など、学ぶ時の心や体ができていないと学習どころではありません。食事・睡眠といった生活習慣がやはり一番大切です。そして、うれしかったこと楽しかったことがすぐに言えたり、心配事を相談できたりできる親子関係づくりをしていきましょう。

ポイント・聞き上手になりましょう。

- ①反復する ②共感する ③それで?と促す。

親の願いを伝えるときは、I(アイ)メッセージで。前向きなアドバイスを。

「私は、…と思うよ。」「…すると、…できるよ。」

学びの技能を育てる

その1 身の回りのことは、自分でできるようにしましょう。

やり方を教えたら、あとは見守ってください。

その2 お手伝いが、生きる知恵・生きる力に結び付きます。

責任をもって取り組める仕事をしてもらいましょう。

「ありがとう。」「助かるよ!」の声かけが励みになります。

買い物、食事の支度は、産地が分かったり、量を体感したり、学習のチャンスがいっぱいです。また、仕事の段取り能力は、学習全般に生きてきます。



学びの習慣を付ける

10分×学年の数の家庭学習の時間を確保しましょう。(1年・・・10分/2年・・・20分)

ポイント・毎日、原則、宿題はあります! テレビも消して集中を。

音読が一番の基本～聞いてくれる人がいてこそ! 丸付け・見直しをご一緒に。